

火山噴火予知連絡会会報

〈第 20 号〉

昭和 56 年 3 月

氣 象 厅

火山噴火予知連絡会会報原稿提出要領

連絡会会報に掲載のため提出する原稿は、下記による。

記

1. 原稿は400字詰原稿用紙を用い、横書きにし、漢字は当用漢字、仮名は平仮名、外国語は片仮名又は原語を用いる。
2. 標題、報告者名及び図・表の説明文などは和文のみとし、欧文は付けない。
3. 図・表の挿入箇所・縮率などについて、必要あるときは原稿に赤字で指定する。
4. 参考文献は本文中では^{1), 2), ...}と肩書し、本文末尾に下の例のように文献を列記する。

(例)

参考文献

- 1) 北海道大学理学部(1978)：計器観測による有珠山頂火口原の地殻変動(1977年8月-12月)，
噴火予知連絡会報、11, 8-12
 - 2) 同上(1978)：同上(1978年1月~3月)，同上，12, 6-8
5. 編集及び校正は、提出された原稿に基づき、連絡会庶務が行なう。

火山噴火予知連絡会会報 第20号

目 次

京都大学理学部・東京工業大学工学部・鹿児島大学理学部

：1980年（9月28日）の口永良部島新岳の噴火（概報） 1

東工大・工 小坂丈予、埼玉大・工 小沢竹次郎

：木曾御岳火山活動における地球化学的調査・研究（その2） 10

北海道大学理学部有珠火山観測所

：有珠火山に群発した地震の震央・震源分布（1980年8月～12月） 14

同 上：有珠火山およびその周辺の地殻変動（1980年8月～12月） 17

同 上：樽前火山観測報告（1980年） 23

海上保安庁水路部：南硫黄島周辺海底火山の最近の活動等について 28

気象庁地震課火山室：全国の火山活動状況（1980年7月～12月） 32

第19回連絡会議事録 42

連絡会庶務メモ 45

Report of the Coordinating Committee for Prediction of Volcanic Eruptions No. 20

Contents

Sakurajima Volcanological Observatory,
Disaster Prevention Research Institute,
Kyoto University·Department of
Inorganic Materials, Tokyo Institute of
Technology·Faculty of Science,
Kagoshima University
J. Ossaka and T. Ozawa

Usu Volcano Observatory, Faculty of
Science, Hokkaido University
Usu Volcano Observatory, Faculty of
Science, Hokkaido University
Usu Volcano Observatory, Faculty of
Science, Hokkaido University
Hydrographic Department of
Maritime Safety Agency
Office of Volcanic Observation,
Seismological Division, Japan
Meteorological Agency

- : Eruption of Shin-dake, Kuchinoerabu-shima,
on Sep. 28, 1980 (Preliminary Report) 1
- : Geochemical Study 1979 – 1980 Eruption
of the On-take Volcano (II) 10
- : Distribution of Epicenters and Hypocenters of
Volcanic Earthquakes Occurring at Usu Volcano 14
- : Crustal Deformations on and around Usu Volcano ... 17
- : Observations on Tarumai Volcano in 1980 23
- : The Latest Activities of Submarine Volcanoes
in the Adjacent Seas of Minami-Iwojima 28
- : Volcanic Activity in Japan (July – Dec., 1980) 32